

誠意感じられず 論点ずらし はぐらかしの答弁に終始 橋爪議員が一般質問で市長の姿勢を追及

今議会では、冒頭に中川幹太市長に對する不信任決議案が提出され、否決されたものの「市長は辞職すべきだ」という世論が高まりました。

しかし、中川市長は言を左右にして辞職を否定し、あくまでも任期まで市長職にとどまろうとしています。

橋爪法一議員は、市長のこの間の不適切発言に関する責任を明確にしようと、一般質問で取り上げました。

しかし、市長は質問にまともに答えず、論点ずらしやはぐらかしに終始しました。そして、結局あくまでも市長職にとどまることにこだわり、辞職を否定しました。自らの不適切発言について、その背景や原因を分析しようとする姿勢はあまりにも無責任です。論戦の概要を報告します。

Q 事実経過を押さえるところから出発しないと、議論ができない。そこで、少なくとも10件あったとされる不適切発言の内容を答えられたい。

A これまでの議会の中でも話されているし報道もされているので、一つ一つ取り上げることが控える。

Q 市長は不適切な発言のたびに猛省をして、二度としないという決意でその後の市政運営をしてきたという。それを列挙することができないのか。思い出せないのか。本当に反省しているのであれば、記憶に残っているのが普通ではないか。

A 私の不適切発言については、今までの一般質問の中でも質問が出されている内容なので、その中で考えていただければと思っています。

Q 一番知ってるのは市長あなただ。本人が覚えてないのはおかしい。忘れていなければ言っただけだし、忘れている。……(左に別記)

A それでは答える。次の10件だと記憶している。……(左に別記)

Q なぜこういう不適切な発言が続いたのか。この分析が非常に大事だ。「差別的な意識はなかった」というが、本当に差別的な意識はなかったのか。昨年の市内の2高校の学力についての発言後、当該高校に謝罪文を持って行ったそうだが、委員会での答弁では公開しないという。心の底からの反省の言葉と、二度とこういふことはやらないという自己分析の入った言葉が書かれたかどうかを知りたいが、今でも公開しないのか。

A 生徒を第一に考え対応

市長が挙げたこれまでの不適切発言の要旨

- ① 若い世代は高田を中心市街地とは思っていないし、直江津には商店街はない。
- ② 市内のA高校とB高校は、県内では県立・公立よりもレベルが下にある。
- ③ 市内のC化学メーカーでは、研究開発以外は工場での勤務で、基本的には高校卒業レベルの皆さん。頭のいい人だけ来るわけではない。
- ④ 市役所では高卒でも部長になる人がいる。
- ⑤ (保倉川放水路事業費が概算であることに對して)事業費は曖昧な額だ。
- ⑥ 子どもの教育ではゲンコツをくれるくらいでいい。
- ⑦ 暑い中で祭りをやっている人と倒れる人が出てくる。
- ⑧ どのような政策をやってもすべての人が幸せになる政策はなかなかない。
- ⑨ J Aの米の仮渡金の100円増は焼け石に水だ。
- ⑩ 文科省で(地元出身の)小柳氏が事務次官になっていることは有利だ。

して欲しいとの両校からの申し入れを重く受けとめ、謝罪文の取り扱いは各校に任せたい。私の発言の経緯などは謝罪文には記載していない。

Q 今年6月の学歴差別ともいえる発言は、昨年7月の発言と無関係だとは思えない。学歴差別の意識、公立と私立の高校の差別的な意識があったのではないのか。昨年7月には謝罪して反省して、二度と問題を起こさないという決意をしているのに、なぜ6月にああいう発言が出てくるのか。説明できるか。

A 私には学歴差別の考え方はないし、学歴によって評価されることはあってはいけなないと考えている。

Q それだと答えになっていない。どうして差別的な発言を繰り返したのかの自己分析が必要なのではないか。その分析に立った答弁をせよ。

A 今回の私の発言が学歴差別発言と受けとめられてしまったことについては猛省しなくてはならない。

Q そう言うのであれば、なぜ不適切発言が続いたのか、その要因を整理して、我々議会にも説明すべきではないか。私たち議員団では、①学歴で人を判断するゆがんだもの、②学歴がある点、③相手方の人権や人間的な価値を認識できていない点、③思ったこと感じたことを深く考えずに言葉にしてしまう点、の3点で分析したが、あなたの分析とどう違うか。反論があるならきちんと述べてほしい。

A 繰り返しですが、学歴で判断せず多様な方々が様々な場面で活躍する姿が望ましいと思っていて、その考え方は変わっていない。

Q 私の質問にしっかりと耳を傾けて答えてほしい。3つの要因について指摘した。それに照らし合わせながら、考えを整理して答えてほしい。人間の評価は学歴ではないと考える。

A 私には学歴差別の考え方はないし、学歴によって評価されることはあってはいけなさと考えている。

Q それだけか。では、わかりやすく質問する。3番目の指摘、「思ったことを感じたことを深く考えずに言葉にしてしまう」という点は以前から感じていた。しかし、市長はそうであってはならない。反省しない限り過ちは続くがどうか。

A 多様な方々がいることを想像しながら発言していかねばいけないと思っっている。

Q 今回の化学メーカーへの不適切発言は全国的なニュースにもなったが、謝罪文を持って行ったか。

A 言葉で伝えた。

Q 400件を超える電話やメールが来たほどの重大な発言だったが、なぜ出さなかったのか。

A 様々な協議の中でそこまではしなくてもよいということになった。

Q 文書で改めて謝罪をしてもよいのではなかったか。

A 協議の中で最終的に判断した。

Q 地元紙のアンケート調査で、85%が辞職すべきだとしている。また、電話やメールで9割を超える厳しい意見があった。これは、大変重い。あえてそれを無視して、激励の言葉があったから続投するというのは理由にならない。辞職するのがとるべき道だ。そう考えないのか。

A 皆さんの厳しい声も重く受けとめながら、最終的に職責を果たしていく決断をした。

Q 最後に1つ。私の母は、あなたとお茶を飲んだ際に、「偉いもんだぞ。立派なもんだ、大したもんだ」と言っていた。おそらく多くの皆さんがその思いを抱いたので市長になっても良かった。そういった人たちの思いを裏切らないでほしい。

A 多くの皆さんの一つ一つの意見を丁寧を受けとめながら、これからの職責に向かっしていきたい。

日本共産党上越市議員団ニュース
 No.846 2024年9月29日
 連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷))
 ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>